

## 尼崎大覚寺市庭を舞台にした 能楽「芦刈」を題材にした

### 京都祇園祭「芦刈山」

大覚寺市庭を舞台にした、平安文学「大和物語」から取材した、世阿弥の能楽「芦刈」を題材にした山車「芦刈山」が、応仁の乱以前から京都祇園祭で巡行している。平成16年、財団法人祇園祭山鉦連合会、財団法人芦刈山保存会の協力を得て、京都の祇園祭で巡行する「芦刈山」の二分の一の模型製作に着手し、平成18年、尼崎市制90年市民パレードでお披露目の巡行をし、平成19年から祇園祭に合わせて、尼崎南ロータリークラブや京都芦刈山保存会の協力を得て尼崎中央商店街で巡航披露している。

## 能楽「芦刈」に因んだ、琵琶湖の葦で作った

### 「芦刈の破魔矢」

芦（あし）悪しを刈り取り、葦（よし）善しに変える、葦（よし）で作った破魔矢。京都祇園祭の山車「芦刈山」を仲介として、琵琶湖・淀川水系の上下流で、東近江水環境自治協議会を中心に、近江八幡市と尼崎市の住民の間で歴史や環境についての交流が図られており、地域の歴史再発見やコミュニティーの再生に取り組み、その交流の一環として平成17年より、琵琶湖の葦で能楽「芦刈」に因んだ「破魔矢」を作っている。

## 「厄除昆布だるま」（兵庫県郷土玩具）

江戸時代、大阪張り子の「金天姫だるま」に、北前船で運ばれた白板昆布の着物を着せ、紅白の水引の帯を締めた「起き上がりこぼし」。

倒れても起き上がり喜ぶ（昆布）。

良縁に結ばれて（水引）喜ぶ（昆布）。

病氣平癒、就職・進学祈願、良縁成就の縁起物。

昆布の着物の背中に名前とえとと年を書き身代りとしてまつる。

節分当日のみ境内にて授与。